

2007年度  
甲南21クリエイティヴ・プラン

## キャンパスから始める環境啓発活動

「いのち」の教育・クラブとのパートナーシップ・地域連携を通して

甲南大学 文学部 谷口ゼミナール

代表 前川 真実  
鎌江 真己子  
志智 薫  
宮元 梨菜

他19名

### 1. はじめに

これまでのSAPの活動

- ・2001年度 「甲南大学における循環型コミュニティの創造」
- ・2002年度 「甲南大学における循環型社会の創造と  
パートナーシップ」
- ・2003年度 「甲南大学における「持続可能な」  
循環型コミュニティの創造」
- ・2004年度 「環境創造活動の推進と  
環境教育とモデルプログラム・教材の作成」
- ・2005年度 「環境啓発活動による環境意識の向上と  
循環型コミュニティの創造」
- ・2006年度 「持続可能な循環型キャンパスの実現を目指して」

## 今年度(2007年度)の活動主旨

これまでの活動成果と経験をもとに

### キャンパスから始める環境啓発活動

- 「いのち」の教育・クラブとのパートナーシップ・地域連携を通して -

- ・学内: 生協北館でのKEMS認証取得  
クラブ・学内組織とのパートナーシップ
- ・学外: 環境創造活動  
環境ボランティア活動

## 2. プロジェクト概要

プラン : 体験学習を通じた環境活動 - 「いのち」の環境教育 -

プラン : パートナーシップによる環境啓発活動

- クラブ活動・学内組織との連携を通じた環境意識の向上 -

プラン : 地域連携による環境活動のネットワーク

- KEMS・地域連携プロジェクトを通じて -

### 3. 実施方法

プラン : 体験学習を通じた環境活動 - 「いのち」の環境教育 -

- (1) 有機農法・不耕起農法によるもち米作り・・・もみから育てる
- (2) 伝統的農法による野菜作り・・・無農薬による健全な野菜
- (3) 自給自足生活の体験学習・・・自然のリズムの目覚め

#### (1) 不耕起農法によるもち米作り

不耕起農法

- 「耕さない稲作」
- 2007年3月より冬期湛水(冬の時期に田んぼに水を張ること)を実施
- 一年中水を切らない



一年中、多様な生物(水生生物)が住める田んぼに



「あいな」での不耕起農法(2006)



不耕起農法による冬期湛水(2007)

不耕起農法による効果

田んぼに生態系を取り入れ、多様な生命が宿る



自然と人間の本来の関わり方が学べる



不耕起農法の例 (HPより)



有機農法の米

不耕起農法へ向けて谷口ゼミの主な活動

- 1年を通じて伝統的農法と比較し、収穫量や田んぼに生息する生き物の違いを観察
- 伝統的農法と不耕起農法で育てた稲を押し葉にして、ギャラリーパンセに展示



「いのち」について少しでも考えるきっかけとなればと考える

## (2) 伝統的農法による野菜作り

野菜を苗から育て成長を観察し、自分達で育てた野菜を収穫し、その野菜を食べる

ひとつの作物の調理法(エコクッキング)を変えることで無駄なく使用する



**「いのちを育てる」大変さを知る事につなげる**



「環境教育の実践」(広野)



無農薬有機農法のトマト

## (3) 自給自足生活の体験学習

- 夏休みの1週間を広野において必要最低限の持ち物で生活する
- 食べ物は今年育てる夏野菜と、昨年育てたもち米を使用する
- 虫除けになるレモングラスをハーブティにする



**現代のライフスタイルを見直すことを目標とする**



とれたての野菜とご飯



レモングラスの栽培



**プラン** : パートナーシップによる環境啓発活動 部活動・  
学内組織との連携を通じた環境意識の向上

- (1) クラブ活動と連携して行なう環境啓発活動・・・KSWL等
- (2) 学内組織とのパートナーシップによる環境啓発活動  
・・・授業等
- (3) アンケート調査による環境啓発活動の現状把握  
・・・クラブ・生協等



**(1) 部活動と連携して行なう環境啓発活動**

学年主体の部活動と連携し、環境啓発活動を行ない、パートナーシップの強化を図る

具体的に・・・

- 1. KSWLと共に、環境についての学内放送を作り情報宣伝活動を行なう
- 2. 美術部と共に、環境啓発を訴えるポスターを作成する
- 3. 茶華道料理部道心会と共に、花壇の設置や、エコクッキングのレシピを作成する
- 4. ワンダーフォーゲル部と共に、六甲山に登り、ゴミ拾いなどの清掃活動を行なう



**学生主体の部活動と共に、実際に環境活動を体験することによって、  
環境問題への気づきが生まれ、各々の環境意識が向上する**

## (2) 学内組織とのパートナーシップによる環境啓発活動

- 第7回「環境啓発シンポジウム」の開催
- 学内組織との花壇づくり



第6回「環境啓発シンポジウム」  
(2006 哲学思想基礎論にて)



種から育てたオシロイバナの苗

## (3) アンケート調査による環境啓発活動の現状把握

- ・全体の環境啓発活動の成果を目に見える形で確かめる
- ・結果からどれだけ環境意識の向上が図れたか調べ、成果を確認する
- ・結果を摂津祭で公開したり、生協のHPの中の情報バックに掲載する



情報バック(2007.5)

プラン : 地域連携による環境活動のネットワーク  
ーKEMS・地域連携プロジェクトを通じてー

- (1) 環境啓発へとつなげるKEMS認証取得を目指して  
…ISOへ向けて
- (2) 「あいな里山国営公園」(国土交通省)における環境教育ボランティア  
…昨年度に引き続き
- (3) 甲南三学園における幼・小・中・高・大学間の環境教育サポート  
…田植え、住吉川、もちつき等

(1) 環境啓発へとつなげるKEMS認証取得を目指して

KEMS認証取得の概要

- KEMSとは、「こうべ環境フォーラム」により創設された第三者による客観的な認証制度
- 昨年度は生協北館のKEMS認証取得を目指し、環境影響項目を特定
- 今年度はKEMS認証取得を目指す



生協との話し合い(2007.3)



神戸環境マネジメントシステム規格  
(KEMSマニュアル)



## KEMS認証取得に向けて具体的内容

- 節電・節水のデータ収集
- チラシ等紙ゴミの削減、リサイクルの推進
- ミスコピー用紙のサイズ別回収ボックスの製作
- 分別を推進するためのポスター作り
- ゴミの排出量のデータ化



サイズ別回収ボックス

↓  
**環境問題やKEMSについて考えるきっかけになり、自発的行動につなげる**

## (2)「あいな里山国営公園」(国土交通省)における環境教育ボランティア

- 2005年から「あいなバイオパーク」が行なっている不耕起農法に環境ボランティアとして参加
- 地域特有の自然、文化、伝統にも焦点を当て、ヒアリング調査を行なう予定

↓  
**新たな気づきや知識を得て、今後の私たちの環境啓発活動に活かす**



あいなでのヒアリング(2006)



「あいなバイオパーク」(2006)

### (3) 甲南三学園における幼・小・中・高・大学間の環境教育サポート

- 2001年より、甲南幼稚園児から大学生とともに、広野での農作業の体験
- 同様に住吉川環境学習を実施
- 世代間交流のサポート



次世代を担う子ども達が環境について新たな気づきを得る



住吉川環境学習(2006)



収穫祭(2006)

4. 終わりに

環境意識の向上

プラン  
体験学習

プラン  
パートナーシップ  
(学内)

プラン  
地域連携  
(学外)